



すくすく

NO.40 平成22年7月1日発行

子どもの気になるワケ

院長 金原洋治

「無くて七癖」は、「自分では癖(クセ)がないと思っても、他人からみれば7つくらいは癖を持っている。」という諺です。癖は、自分で自覚しているものもありますが、他の人から言われてはじめて気づくものも多いようです。

子どもは気にしていないのですが、親御さんが気にされて相談にこられる場合がほとんどです。

今回は、子どもの癖に関する、比較的多い質問を取り上げてみました。

指しゃぶり

指しゃぶりは、多くの赤ちゃんがやっています。3歳頃になると少なくなり、5〜6歳頃になるとやめることがほとんどです。「ヒマを持て余してやっていると、気持ちを落ち着かせるためにやっている。」と考えて下さい。程度がひどい場合は歯並びや噛み合わせに影響を与えることがあります。子どもの体や心に影響を与えることはなく、遊びが豊かになるとだんだん減ってきます。指しゃぶりを悪者とは考えず、遊びに誘ってあげるくらいの配慮をされたらいいですね。

「指しゃぶりの危険は、指しゃぶり自体にあるのではなく、それをやめさせようとしてなにかをすることだ。」という小児科医の山田真先生の言葉はとても参考になりますね。

爪かみ

3歳過ぎくらいから始まり、6歳頃から増加し、10歳頃にピークを迎え、その後、だんだん少なくなってきました。指しゃぶりはリラックスした時に多いのですが、爪かみはイライラしたときなどに多いようです。少しくらいの爪かみは自然に治ることが多いので気にしすぎない

方がいいですね。

指先が荒れて傷になったり、ささくれだったりするほどひどい場合は、欲求不満、過度の緊張、不安、退屈などのサインとして爪かみをしている場合もありますので、何か原因がないか考えてみましょう。

本を読んであげたり、お話をしたり、一緒に遊ぶ時間を増やすようにしてあげるのはいいい方法です。やめるように注意をし過ぎては治りませんし、かえって不安や緊張が高くなるようです。心配な場合はご相談下さい。

性器いじり



乳幼児の性器いじりは、3歳頃から多くなります。手が性器に届きやすいので男の子に圧倒的に多いです。女の子の場合、机の角にお腹や股を押しつける、座布団や畳の上うつぶせになって全身に力を入れることが多いです。女の子の性器いじり(マスターベーション)を目の前で見ると戸惑いますね。しかし、怒ったり、注意をし過ぎては治らないし、ひどくなることも多いようです。子どもは、多かれ少なかれ、一時的には、性器いじりをする時期があることを理解し、周りが過剰反応しないようにしましょう。

お母さんやお父さんが、イライラしていたり、ゆとりがない生活をしていて、子どもにストレスがかかり過ぎていないか、振り返ってみましょう。ゆったりと子どもと接することに気をつけ、相手をしてあげたり、外遊びを増やしていくと、次第に少なくなってきました。いつかは必ず消えるので、のんびり構えて下さい。

チック

チックは成長期の子どもの10〜20%くらいに見られ、多くは1年以内に治ります。まばたき、首振り、顔しかめ、口すぼめ、肩上げなどが多いのですが、飛び跳ね、足踏み、咳払い、鼻ならし、叫びや単語を連発する発声チックもあります。男子に多く、4〜11歳頃に発症し、6〜7歳頃にピークを迎えます。

以前は、母子関係が重要な原因と考えられていたのですが、現在では、生まれつきの脳のタイプが主因で、ストレスや緊張により誘発され発症すると考えられています。

園・学校・家庭などで、心の負担になっようなものがあれば取り除きましょう。止めようとするや却ってひどくなる場合もありますので、注意をしたり叱ったりせず、リラックスできるような環境づくりが大切です。程度がひどい場合は、薬物療法が有効ですので、ご相談下さい。

院長不在のお知らせ

学会、講演や会議のため下記のとおり不在です。

7月22日(木) 石本医師のみ
8月19日(木) 10時から 石本医師のみ

27日(金) 午後 石本医師のみ

9月25日(土) 石本医師のみ
石本医師不在 石本医師のみ

7月16日(金) 午後 石本医師のみ

8月28日(土) 石本医師のみ

日本外来小児科学会にスタッフ
全員参加のため休診



みかんちゃんのひとこめ

「子ども手当」どう使いますか？

財源の問題もあり、いつまで続くかわからない「子ども手当」ですが、せっかくだけの臨時収入・・・

子どもたちのために使わせていただきましょう。

そこで、今までは高価で接種させてあげられなかった任意接種のワクチンをしてあげるのはどうでしょう？

普通に使うてしまえば無くなってしまうお金も、ワクチンをすれば抗体という形で、長い間子どもたちを守ってくれるものになりますよ。

任意接種のワクチン

流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）

水痘（みずぼうそう）

肺炎球菌（髄膜炎）

ヒブ（髄膜炎）

子宮頸がん

ご希望の方はご予約ください。

*みかんちゃんは金原家のミニチュアダックスフンドです。ときどき院長と一緒に出勤しています♪



登園登校許可証について

山口県医師会では、下記の病気については出席停止扱いとしています。病気後の登園登校時には許可証を医師にもらうように決めています。それぞれの病気で登園登校開始の目安が決まっていますので、感染拡大防止のためにも、お互いにルールを守って学校や園にいきましょう。

*登園登校許可証が必要な病気

麻疹、風疹、水痘（みずぼうそう）

流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）

結核、インフルエンザ、

アデノウイルス感染症（プール熱）、百日咳

腸管出血性大腸菌感染症、溶連菌感染症

マイコプラズマ肺炎

手足口病やヘルパンギーナなどは許可証の必要はありません。

編集後記

スキルアップ目指し職員一同で日本外来小児科学会に参加いたします。8月28日（土）は休診となりみなさまには大変ご迷惑をおかけしますが、よろしくお祈りいたします。 モモ、クリさんねん

夏休みにMRワクチンをすませましょう！

平成20年4月から中学1年生と高校3年生も定期接種するようになりました。（無料）

麻疹の流行は続いています。

対象年齢のお子さんは、夏休みを利用して、ぜひ接種に来てください。

※ 予約は不要です。

母子手帳をお持ちください。



ポリオの予約が始まります

9月よりポリオの接種が始まります。

予約制ですので、受付にてお申し込み下さい。お電話でも受け付けています。

予約開始 8月2日（月）

接種期間 9月1日（水）～10月中旬 月火水金

時間 14時～14時30分

定員 各日とも17名

※接種前後30分間は飲食が出来ませんのでご注意ください。

※DPT（三種混合）とヒブワクチンの接種を優先して下さい。

おすすめの絵本

『おこだでませんように』

くすのき しげのり・作

石井 聖岳 ・絵

自分の子育てを思い出しました。

子どもを怒ってしまい、泣きながら寝入った、その寝顔を見て「あんなに怒ってごめんね」と反省した日々。

七夕の短冊にいつも怒られてばかりの主人公が、

「おこだでませんように」と書いたことで気づく

子どもの切ない気持ち…。

涙なしでは終わらない感動作です。



栄養相談日

栄養士が担当します。子どもさんの栄養に関すること何でも相談してください。

時間 14時から16時まで

7月14日（水） 8月11日（水） 9月 8日（水）

7月21日（水） 8月18日（水） 9月 15日（水）

7月27日（火） 8月24日（火） 9月 28日（火）

夜間急病診療所のご案内

夜間の急病時には夜間急病診療所をご利用下さい。

場所 下関市大学町2丁目（市大近く）

診療時間 19時～23時 電話番号 252-3789

発行人 かねはら小児科 金原 洋治

山口県下関市生野町2-28-20

083-252-2112

HPURL <http://members.jcom.ne.jp/28149681/>